

JAIG - NEWS

No.27

Mai 1992

8. Deutsch-Japanische Amateurfunktagung in Hechingen

Vom 3. bis 5. April 1992 fanden in Hechingen/Hohenzollern die 8. Deutsch-Japanischen Amateurfunktagung statt. Ausgerichtet wurde die Tagung von der JAIG, der Vereinigung japanischer Funkamateure in Deutschland und vom OV P 52 "Hohenzollern".

Es hat sich eingebürgert, daß die Treffen im Wechsel entweder in Winnigen/Mosel oder an einem anderen, für unsere Gäste aus Fernost interessanten Ort stattfinden. So trafen wir uns also in diesem Jahr am Fuße der Burg Hohenzollern am Nordland der Schwäbischen Alb. YL Nina, DL2GRC und JAIG-Mitglied, hat das Treffen mit ihrer Familie und den Mitgliedern ihres Ortsverbandes vorbereitet.

Für die früh angereisten Teilnehmer war am 3. April ein gemeinsamer OV-Abend mit P 52 Rathaussaal in Sickingen angesetzt. Ein Diavortrag über Japan stimmte auf die kommenden Tage ein.

Richtig laut und japanisch wurde es aber erst am Samstag, als über DBOCI und auf der Haus-qrg die Anreisenden eingewiesen wurden und eine, zwischen Autobahn und Hechingen neu eingerichtete Baustelle für ein mittleres Durcheinander sorgte. Aber auch das Problem konnte bewältigt werden, nachdem ein einheimischer OM die Strecke abgefahren und Schleichwege erkundet hatte.

Nach dem gemeinsamen Mittagessen fuhren wir zur Burg Hohenzollern. Leider hatte sie sich in Wolken gehüllt und Petrus zeigte sich mehr von der unfreundlichen Seite. Die Besichtigung war aber trotzdem ein voller Erfolg. Ein Profi des Tourismus leitete unsere ca. 60köpfige Gruppe durch die Anlage und YL Mitsuko (leider noch ohne Rufzeichen) übersetzte nicht nur die Erklärungen des Fremdenführers, sondern brachte wesentlich mehr Einzelheiten und Informationen über die deutsche Geschichte ein. Mitsuko war einige Wochen vorher extra aus München zu einer Vorbesichtigung angereist und hatte noch viel Literatur über die Burg gewälzt. Für die japanischen Gäste waren ihre Ausführungen sehr interessant. Ihr sei hier besonders gedenkt.

An die Burgführung schloß sich ein Rundgang durch Hechingen an.

Während der Tagung war die Clubstation DL0DJF qrv. Natürlich konnten auch Verbindungen mit Japan hergestellt werden, denn die Firma Fritzel hatte uns dankenswerterweise einen Anhänger mit 18 m Mast und FB 33 kostenlos zur Verfügung gestellt.

Beim Festabend blieben dann im Großen Saal nur wenige Plätze frei. Fast 130 Teilnehmer konnte Kunihiro Iki DF2CW, der Gründer und Leiter der JAIG, am Abend begrüßen. Die Tombola fand regen Zuspruch und für die musikalische Umrahmung sorgten Sumiko DD5FR auf der Koto, Anne DL2GRA (Flöte) und Mieko DD5KJ (Gesang). Die Koto ist ein altes, inzwischen auch in Japan selten gewordenes Saiteninstrument.

Die Teilnehmer kamen nicht nur aus DL, einige waren aus G, GM, GW, SM, F, PA, LX und HB9 angereist.

Höhepunkt des Abend war die Verleihung des neugestifteten "Deutsch-Japanischen Freundschaftspreises" an OM Kunihiro Iki. Ihm wurde der

Preis für die Gründung und Leitung der JAIG und für sein untermüdliches Eintreten für die deutsch-japanische Freundschaft verliehen.

Kunihiko Iki wurde in Sendai-Nordjapan geboren. Er studierte Elektrotechnik in Sendai und war mit dem Rufzeichen JA7HM aktiv. Schon seit früher Jugend galt seine Liebe Deutschland und er träumte immer von einem längeren Aufenthalt dort.

Nach zehnjähriger Berufstätigkeit in Japan wollte er sich seinen Traum erfüllen. Er bewarb sich darum bei verschiedenen Firmen in DL um eine Stelle. Eine großes Unternehmen in München stellte ihn an, aber bevor er wieder nach Hause zurückkehren konnte, schoß Gott Amor einen Pfeil ab und traf ihn voll ins Herz. Heute lebt Kuni mit Familie in Fürstfeldbruck. Er hat inzwischen die deutsche Staatsbürgerschaft angenommen.

Am nächsten Morgen kam noch einmal Leben in die Bude. Ein früh aufgestandener OM ließ seinen Blick aus dem Hotelzimmerfenster über das am Sonntag morgen friedlich schlafende Hechingen schweifen, als etwas sah, was er nicht sah: Die Antenne war weg. Großalarm im Hotel! Alles in die Hosen und Socken und ab zum Tatort, aber der Anhänger mit Mast und Antenne stand noch auf seinem Platz; Michael DG1GRM hatte vorsichtshalber spät in der Nacht den Mast noch eingeholt, damit evtl. Aufkommender Wind der Antenne kein Leid antue.

Die JAIG-Runde war auf 21 MHz an diesem Morgen besonders gut mit Teilnehmern bedacht. Nach fast drei Stunden rief hier das Mittagessen und der Abreisetermin, da einige noch einen weiten Heimweg hatten, und in Japan wurde auch so langsam zum Abendessen geblasen und die Futons auf den Tatamis ausgerollt.

Auf der HAM-Radio treffen wir uns wieder im Messerrestaurant. Im nächsten Jahr soll das Treffen in Bad Homburg bei Frankfurt stattfinden. Gäste sind uns immer herzlich willkommen.

Wer Interesse an der JAIG hat, wende sich bitte an OM Kuni DF2CW.

Sayonara! Dewa mata o-aishimasho!

Edgar Morrison-Cleator DK9UA, 7J1ADW



= JAIG ミーティング '92 がヘッヒンゲンで開催されました =

恒例の JAIG ミーティング, 今回はドイツ歴史の最も重要な一時期をつくったプロイセン王の本家のあるホーエンツォレルン城のあるシュバーヘン地方の風景明美な町, あるいは学都チュービンゲンのほぼ隣の町ヘッヒンゲンで4月4日行われました。

丁度, 4月3日の金曜日には, この地の地域クラブ ホーエンツォレルンの月例ミーティングがあり一日早く到着していた松村(DJφUL), 村上(GMφNJP), 鶴見(DJφOQ)の各 OM と私(DF2CW)がゲストとして出席致しました。会場では訪日の経験のあるクナウアーさん(DJ8YN)が彼の撮影したスライドで日本の様子を紹介し, JAIG ミーティングの雰囲気盛り上げました。

私達のミーティングの会場となっていたホテルには 17 米もある自立型伸縮マストに3エレメント トライバンド用のアンテナとローテータが取付けてあり無線室として用意された一室にはもうすでにケーブルも引き込んでありました。これは, この地域クラブの方々が DL にあるハム用アンテナを製造しているフリッツル社から無料で借用出来る様交渉し, 1.5 トンもあるマストと基礎台車を 200km の道を引いて来て組立て用意してあったものです。月例の地域クラブミーティングが真夜中に散会したにもかかわらず是非このアンテナのテストをしたいとの希望で私の持参した FT757+FL7000 を設置接続, まずは 21MHz バンドでチューニング, しかしコンディションは良くなく, 14MHz に QSY, 聞こえる。JA が入感したので村上 OM が私共のクラブ局のコールサイン DLφDJF で呼んでみると一発で手ごたえありお互いに 59 のレポートを交換, そして又別の JA 局とはラグチューとなり真夜中に FB に交信出来ることを確認し, お互いに Gute Nacht と云って就寝しました。

翌朝4月4日には連絡用として設定しておいた 145,250MHz と 70 センチのレピータから次第に日本語による QSO が聞えはじめ, 参加者がお互いに連絡を取り乍らヘッヒンゲンのこの町に向っているのが解りました。DL のハムには地域クラブの OM が道案内役が引き受けていただき, それらの QSO も入りまじって受信出来 これですまさに私共のグループの国際的な一面を感じさせる一コマでもありました。早朝3時にアムステルダムを出て桜田さん(JP1NWZ)と共に車で走っている大保さん(PAφFHA), フランクフルトで小松さん(DCφFM)にピックアップされた U.K.の荒川さん御夫妻(GWφ/N2ATT)とストックホルムからかけつけて来た笠松さん(SMφHEG)などの声が聞かれました。11 時に私共の為だけに用意されたレストランでは頭初 15 名位かと予想していた参加者も 12 時をすぎる頃には 50 名が顔をそろえ別室に席を設ける程でローカルのハムの方々には夜の部への出席だけで昼食の部は御遠慮願います。と云う程の盛況となってしまいました。ここではもう初対面の方々が食事前からもう日本語とドイツ語まじりのアイボール QSO が始まっていました。

皆んなそろってのこの地方の料理を味わった後 ここにある要塞ホーエンツォレルン城の見学に車をつられ乍ら出掛けたのです。ここでも又お互いに無線で連絡を取り乍ら走った様は JA のそれと変わりありません。気温は5度程で肌寒く、時折り小雨の降る4月でした。海拔 855 米にある城では、天気が良ければ広大なシュバーベン地方の丘陵地帯が見えるはずなのに残念乍ら霧にうずもれてしまっていました。しかしそれでも DF2MC の XYL による日本語の名ガイドでドイツ史の重要な一片にふれお互いに記念写真を撮り合い、そして途中ヘッヒングンの町を見学し夜の部の会場となるホテルへと又車を走らせたのでした。

頭初、出席者は 60 名程度と想定して準備していたホールも仕切り壁を取り去りふたつの大部屋を借切って使用し、それでも座席の数は何んとか間に合う程で 後で出席者数を見ましたらほぼ 100 名の大ミーティングとなっていました。ドイツ国内全域は云うに及ばずヨーロッパ近隣諸国からの出席があり世界状態の比較的安定した時期だけに誠に嬉しい限りでした。JA の OM には早速一つのテーブルをかこんで夕食を共にし、ワインを飲み乍ら一年ぶりの再会を、あるいは初めてのアイボール QSO に花が咲いていた様です。夜も 20 時を少しまわった頃 先ず私が挨拶に立ち、JAIG の昨年の経過報告を致しました。DL の DJF のコールでハンスさん(DF2MC)が第3回ジャパンインターナショナルコンテストに参加した際に獲得した豪華な盾を紹介したところ写真を撮りたいとの申し出と共にフラッシュの攻撃に合い報告が一時中断する程でした。次にジークフリートリーフラーさん(DG1GRS, ここの地域クラブ, ホーエンツォレルンの会長)の歓迎の挨拶があり、私共のいつもの習慣である自己紹介へと移って行ったのです。名前とコールサインだけだったのですが、それでもかなり時間がかかった様です。これも伝統となった澄子さん(DD5FR)のお琴に合わせ今回はアンネさん(DL2GRA)のフルートとの合奏で、先ずは日本の音楽をメドレーで、次に春にちなんでサクラを日本語で歌い、引きつづき日本語で“別れ”と呼ばれ親しまれているここシュバーベン地方の曲ムシデンを独日両語で岩崎美恵子さん(DD5KJ)の指導で合唱いたしました。DL の友達にはお琴の音は始めての方も多く そのめずらしさもあって雰囲気は最高潮に達したのでした。ニーナさん(DL2GRC)と彼女の家族によって用意された福引きにはゼクト(ドイツ製シャンペン)や日本酒、ハム用ログブックあるいは出席した子供達の為の小熊のぬいぐるみなど 200 点程を求めていただきこれも又大変好評でした。売り上げは JAIG 運用資金とするものでした。

私は突然エドガーさん(DK9UA, 7J1ADW)の流暢な日本語とドイツ語で紹介を受け、今、第8回

目の JAIG ミーティングに当たりこのグループを創立、そして今日まで牽引して来た努力に対し、賞状と盾を贈るとの言葉に戸惑ってしまう一幕もありました。JAIG が今日、この様に大きく発展して来た要因はグループ皆様の一至協力があったからであり、そう意味からこの賞は JAIG 全体のものであることは云うに及びません。

日独両国の親善交換は言葉の障害もなんのその、夜おそくまでつづき、そのなごやかな雰囲気は御想像いただけたと思います。普段ドイツ語や英語だけで生活されている JA の方々にもこの日は思う存分日本語を楽しんでいただけたことと思います。

ドイツは今夏時間、真夜中の午前0時は JANET の時間で荒川さん(GWφ/N2ATT)を始め多くの方々が無線機の前で待機していると普段この時間フェードアウトしてしまうWのシグナルが私共 JAIG ミーティングに福音をもたらすかの様に聞えるではありませんか。あの世界中に知れ渡っている KB8VA のコントロールしているアナウンスが。空中状態は良さそうでしたが、私共の電波は残念乍ら直接とどかずカナダの大山さん(VE3/JJ1DSB)経由で DLφDJF のコールサインで始めてチェックイン出来ました。

翌5日、戸外はみぞれの降る肌寒い天気です。日曜日、JAIG-NET のある日なので皆んな早起きし、朝食も急いで済ませ 再び無線機の前へ。昨夜は強風であったため下しておいたアンテナを笠松さん(SMφHEG)や松村さん(DJφUL)等は雨にぬれ乍らクランクアップを引き上げもどって来た頃は、まだ予定の1時間以上も前だと云うのに 21.360MHz のネットの周波数でコントローラーの五十嵐さん(JA1DKN)のシグナルが聞えはじめていました。時間が早かったせいか、あとからチェックインされた方々には私の時計がくるっていたの、と云う乍らの QRV もありました。ミーティングに参加された方々は一声ずつ JA に挨拶を送りそれらは全部受信された様でした。又、DL のハムにはこの機会に是非 JAIG アワードをとの希望で特別 QSO があつたりで延々2時間半にわたる JAIG-NET も昼を近くして終わったのでした。

JA の方々にはあまり話が出来なかったことでしょう。又、別のバンドでの QSO を希望された方々にも、それに答えられず申訳ないと思っています。そして又、ネットコントローラーの五十嵐さんには大変な御苦勞をおかけしました。心から御礼申し上げます。

SMφHEG と云えばスエーデンの代名詞の様な笠松さん。

マグネットループアンテナでIなしの電波を出しておられるロンドンの GφMYB 河本さん、ジュネーブから絶対に HB9 のルールで QRV と頑張っておられる HB9/GφRJW の宮本さん

CWで音なしのかまえ、しかしルクセンブルクで確実に活躍している LX2AA 加藤さん
 アンテナを上げたらこんなにも良く JA が聞えると毎週 JAIG-NET に顔を出している PAφFHA 大保さん
 DAφで今後の期待を一身に集めている JP1NWZ の桜田さん。
 実は JA まで飛んでいるのに飛ばないんでねといつも謙遜している GMφNJP 村上さん。
 世界中どこに転勤があっても彼の声は必ず聞えると定評のある N2ATT,GW7KTA こと荒川御夫妻
 そして旧東ベルリンからかけつけ皆さんで初対面を祝った Y46FO オラフさん
 などなど今回出席された DL 以外の方々を列挙すればその EU での JAIG の国際性が
 御解りいただけると思います。

今後の第8回目のミーティング開催にあたって、先に書いたアンテナマストの借用運搬そして
 建設にあたり、又開催日には2米と70センチで道案内役をして下さった地域クラブホーエン
 ツォレルンの皆様、このクラブの会長ジークフリートさん(DG1GRS)とその家族、特にニーナさん
 (DL2GRC)の多くの困難な問題解決にあたった労力、それがなくてはこれ程の
 成功はあり得なかったでしょう。

紙上を借りて心から御礼を申し上げます。

DF2CW 記

注:この記事は荒川 OM(GWφ/N2ATT)を通して CQ 出版社に出しております。



HAMRADIO' 92-FRIEDRICHSHAFEN

WIR TREFFEN UNS WIEDER AUF DER MESSE
 HAM RADIO IN FRIEDRICHSHAFEN
 27.Juni '92 SAMSTAG AB 11.00 UHR
 GR.RESTAURANT IN MESSEGELÄNDE

例年の様に この機会に再びアイボールをしたいと思っておりますので
 会場に来られた方は御出席下さい。

**6月27日土曜日 11時から、レストランでお待ち
 致しております。**

Beim Jahrestreffen von JAIG in Hechingen hat DF2CW, wie folgt, begrüßt:

Auf Grund der günstigen politischen Lage im Vergleich zu 1991 können wir diesmal hier in Hechingen zahlreiche japanische Freunde aus benachbarten europäischen Ländern begrüßen, worüber wir uns sehr freuen. Ich möchte auch im Namen unserer Mitglieder die Gäste vom OV Hohenzollern (P52), Herrsburg und Böblingen herzlich willkommen heißen.

Seit dem letzten Treffen wuchs die Zahl unserer Mitglieder um rund 67%, das ist die größte Zuwachsrate seit Bestehen unserer Gruppe. Wir sind jetzt 215 Mitglieder. Das ist eine erfreuliche Nachricht, jedoch bringt sie einige Probleme mit sich, die nicht nur die Herausgabe der JAIG-NEWS betreffen. Wie Sie sicher schon gemerkt haben, bemühe ich mich, den Inhalt zwei-sprachig zu gestalten. Die JAIG-NEWS sind das einzige Kontaktmittel unserer Mitglieder, neben der JAIG-RUNDE. Ich möchte aber über dieses Thema von Fall zu Fall mit den betroffenen OM's diskutieren.

Bis Ende März 1992 haben wir von den Diplomen der Klasse I 64 Stück und der Klasse II 83 Stück herausgegeben. Es gehen aber in letzter Zeit weniger Anträge für Diplome ein. Werben Sie deshalb bitte in Ihrem Bekanntenkreis, z.B. bei einer Funkverbindung. Außerdem schauen Sie bitte in Ihr Log-Buch, wer dieses schöne, dreisprachige Diplom noch nicht erworben hat. Derjenige möchte bitte einen Antrag stellen, da unsere Finanzlage um etwa 6DM pro Diplom aufgebessert wird.

Wie ich bereits in der JAIG-NEWS Nr. 25 geschrieben habe, überreichten OM Hans (DF2MC) und OM Edgar (DK9UA) im Namen der JAIG-Gruppe anlässlich ihres Japan-Besuchs OM IGARASHI (JA1DKN) einen bayerischen Bierkrug mit Zinndeckel als Anerkennung für seinen unermüdlichen Einsatz als Kontroller für die wöchentliche JAIG-RUNDE. Ohne ihn wäre der reibungslose Info-Austausch zwischen Europa und Japan unmöglich. Viele unserer Freunde nahmen am dritten Japan International DX Contest teil. OM Hans (DF2MC) betrieb als Operator die JAIG-Clubstation DL0DJF. Wie schon in den JAIG-NEWS berichtet, gewann er den 1. Platz in Europa in der Kategorie 20-Meterband als Einman-Operator. Ebenso haben OM Günter DF9ZN und OM Hans DF4WW in anderen Kategorien jeweils den ersten Preis gewonnen. Außerdem sind OM Tsurumi DJ00Q und OM Ronny Y48GN als Preisträger veröffentlicht worden.

Die Frequenzen 21.360 Mhz und 28.360 Mhz etablieren sich nicht nur bei der JAIG-Runde als Treffpunkt für unsere Mitglieder. Wie wäre es, wenn OM's aus DL diese Gelegenheit nutzen würden, um ein bißchen japanisch zu sprechen?

Ich glaube, daß wir den in Europa lebenden japanischen OM's, die lange Zeit aus verschiedenen Gründen QRT waren, durch unsere wöchentliche JAIG-Runde einen Anreiz gegeben haben, wieder als Funker aktiv zu werden. Ich habe in letzter Zeit viele neue Stimmen hören können. Außerdem habe ich festgestellt, daß sich viele OM's wie sog. TANUKIs, auf deutsch Dachse, verhalten d.h. zuhören und nicht an der Runde teilnehmen.

Nun, das nächste JAIG-Treffen findet am 27. Juni 1992 in Friedrichshafen beim HAM RADIO statt.

Wir danken Bernd (DG1GFQ), Holger (DL8CSU), Horst (DJ4SM), Krisch (DL1GDC) für die Organisation und den Transport der 3 Elemente-Yagi-Antenne mit 17 Meter Höhe Gittermast. Ebenso gilt unser Dank Werner (DG9GBN), Willi (DG2GBI) und Andreas (DG8GAR) für die Wegweisung über Funk der Teilnehmer.

Wir danken Nina und den sieben Schwaben der funkenden Familie Riefler herzlich für die Bemühung, das diesjährige Treffen organisiert zu haben.

DF2CW は次の様に挨拶した。

今回は比較的安定した国際情勢の中で前回と違って多くの近隣諸国からの御出席を見大変嬉しく思います。また、この地域クラブ ホーエンツォレルン、ヘルンベルク及びポオーブリンゲンの方々の参加を心から歓迎致します。私共のグループは前回のミーティング以来 67%もの増加を見 現在の会員数は 215 となりました。それは嬉しいことでもありますと同時に JAIG-NEWS の発行部数が多くなるとの他に、本格的に2ヶ国語で記載しなければならない等と云う様な問題を持っています。しかしこの JAIG-NEWS は JAIG-NET と共に会員相互の交流の場としての重要な役割をもっていますので、その時、その場によって他のメンバーの方々と話し合い解決しようと考えて居ります。今年の3月まで私共の JAIG-AWARD はクラス I に於て 64 枚クラス II に於いて 83 枚の発行がありました。しかし最近その申請が少なくなって来ている様です。ですから QSO の時などこのアワードの存在を知らせる様 PR をお願い致します。それからこれを受けていない会員の方々にはもう一度ログを見ていただき申請して下さい。ちなみに1つのアワードにつき JAIG の資金が約6マルクの増加を見ます。もうすでに JAIG-NEWS25 号でお知らせいたしました様にハンス(DF2MC) とエドガー(DK9UA)の訪日の際五十嵐 OM(JA1DKN)にバイエルン風の錫のフタの付いたビールジョッキを、彼の毎日曜日に行われている JAIG-NET のコントローラーとしての努力に感謝し、贈りました。五十嵐 OM なしではこうもスムーズな EU と JA の Info 交換は出来ないかも知れません。第3回目の JAPAN-INTERNATIONAL DX-コンテストでは DF2MC がクラブ局 DLφDJF で大活躍したことは皆さん御存知でしょう。その他私共の会員で DF9YN,DF4WW, DJφOQ それに Y48GN も入賞しております。21,360MHz と 28,360MHz はもう私共の待合せの場所として定着している様です。これがDLの方々の日本語の練習の場となってくれるとよろしいと思っています。EUに長く住んでいて、いろいろな事情でQRV出来なかった方々、私共の JAIG-NET にシゲキされたのでしょうか新しい声が聞える様になりました。その他に多くの方々がタヌキをしている様でもあります。さて、次の JAIG ミーティングは6月 27 日フリードリッヒスハーフェンで HAM RADIO です。

私共は、3エレアンテナと 17 米マストの調達運搬に多大の労力のあった DG1GFQ, DL8CSU, DJ4SM それに DG1GDC の各 OM に感謝致します。又、参加者の為無線での道案内に協力してくれた DG9GBN, DG2GBI, それに DG8GAR の OM の方々に御礼申し上げます。

ニーナと7人家族の無線家ファミリー、リーフラーさんには今回のミーティング開催にあたって多大の努力によりそれを成功に導いたことに私共から深く感謝の意を表します。

(7頁の翻訳 DF2CW)

JAIG-Treffen '92 in Hechingen 4. April 1992 Teilnehmerliste

JAIG- MHRL. Nr.	Rufzeichen	Name
193	DN1EHR	Gerold + xyl
	DG8SCP	Frank
	DG2GFS	Franz
87	DK9UA/ 711ADW	Eckhard
199	DH0DAC	Gerhard
	—	XYL - MATEGORATA
107	DJ6PO	Johannes J. xyl Röh
213	DL/JJ1UAP	Masaki YOSHINO
215	DH3SA5/JA8FTW	Masahiko SATO
118	G0MYB/ JA3BRW	KAZUYA KAWAMOTO
23	JA0CQP/DG0FA	TOYOKI KOMATSU
92	JG1PGJ/ LX2AA	Yosi KATOH
94	SM0HEG	YOSHIO KASAMATSU
88	DJ0MBG	Shun-ichi Maruyama.
208	DL/JR2BBR	Takashi YAMAMOTO
122	DJ8MPU	Keiko Maruyama
1	DJ0UL	Hajime Matsumura
18	DF2CW	Kennji Ikei
83	DL2GRG	Christina Riefler
174	DG1GRS	Siegfried Riefler
44	D30CT	Kaichi Kauchi +2
175	DJ0GRG	Siegfried Riefler
173	DL2GRA	Anne Riefler
64	DD5FR	Sumiko Maruyama-Cleate
37	DD5KV	Mieko Iwasaki
	DG9GBN	Werner Braun
	DG2GBI	Willy Bitzer
	DG0GAR	Ulrich Ritzsch
206	JP1NWZ V29JA	Yoichi Sakurada
77	DL5SCC	Silvia Notz
	SWL	Dominik-Felix Notz NIKI
78	DG4SAB	Achim Notz
168	DK5ji	Hans Schwarz
216	DS4SM	HORST GEERKEN
184	DJ6SW	Gerhard Paul
	(x)YL	Irene Paul

JAIG-Treffen '92 in Hechingen 4. April 1992 Teilnehmer-Liste

JAIG-Mitgl. Nr.	Rufzeichen	Name
31	GW7KTA	TAIZO ARAKAWA
217	JG3FAR	Yoko Arakawa
178	DK50C	W. RosenberG
135	DL4LI	Klaus Wriedt
133	Y46FD	Olof Fichtner
79	DJ9UH	BERTIN BUTZ
161	4B9160Rjw	Toshitaka MIYAZAKI
218	JK6VLO	S. MIYAZAKI
219	DL6GBi	IRENS BRAUN
220	DF7u3	BOBO BRAUN
113	DC0HR	KAZUHIKO SASAKI
125	DD5CI	MAYUMI SASAKI
117	DJØOQ	KAZUNORI TSURUMI
106	DJØACY	YOSHIHIRO MATSUNAGA
		Rika Matsunaga
19	GMØNJP	MITSURU MURAKAMI
124	DJØTQ	Shinji OHNISHI
	JF3SZ	Wolfgang Holz
	DC3TX	Arno Holste
111	DF2MC	HANS GRAF
16	DJØER	MASAMI WAKAMURA
	DJ4SG	Werner Lillrich
	DC2GL	Christoph Goetze
	DB9GI	Norbert Gaus
	DL2SDC	Martin Uiechmann
	DF2TW	Karl Roßmann
	DC4SI	Stefan Krüder
	DF3SP	Walter H. Wolfangel
749	DL8SCH	Holger Riefkämper
	DL3SAP	Ingrid Wolfangel
	DD3GC	Brunhilde Dettling
	DHØGSP	Edla P. Müller
221	DG1GRM	Michael Pfeifer

Am Abend weltumspannender Funkverkehr

17 Meter hohen Antennenmast aufgebaut / Deutsch-japanische Amateurfunktage in Hechingen

Hechingen. In Hechingen fanden kürzlich die deutsch-japanischen Amateurfunktage statt. Einmal im Jahr treffen sich die Mitglieder und Freunde der »Japan Amateurs in Germany« an verschiedenen Orten in Deutschland. In diesem Jahr hatten Mitglieder des Ortsverbandes Hohenzollern im Deutschen Amateur-Radio-Club (DARC) unter Federführung von Christina Riefler eingeladen. Mehr als 100 Funkamateure mit ihren Familienangehörigen aus ganz Europa folgten der Einladung, um all jene zu sehen, mit denen sie schon länger über die Ätherwellen Sprech- oder Morsekontakt gepflegt hatten.

Eröffnet wurde das internationale Treffen mit dem Ortsverbandsabend im Rathaussaal in Sickingen. Ein anschaulicher Diavortrag über die Eindrücke einer Japanreise stimmte schon auf die kommenden Tage ein. Andenken von der Reise waren in einer kleinen Ausstellung zu bewundern und zu »begreifen«.

Am folgenden Tag erfolgte der große Ansturm. Schon beim Mittagessen wurden Kontakte geknüpft und intensive Gespräche geführt. Um 14 Uhr war eine Burgführung angesetzt. Die Erklärungen wurden in Deutsch und in Japanisch gegeben. Die

Besucher waren äußerst interessiert und fragten immer wieder nach, worauf der Burgführer sachkundig und mit viel Geduld antwortete. Das Wetter zeigte sich von seiner nebelig-nassen Seite, doch die Atmosphäre strahlte trotzdem heitere Herzlichkeit aus. Nach einem Stadtrundgang durch Hechingen begab man sich dann ins Gasthaus »Lamm« in Stein. Dort trafen nacheinander immer mehr Besucher, besonders aus der Nachbarschaft, ein. Die Ortsverbände Tübingen, Herrenberg und Böblingen hatten Abordnungen geschickt.

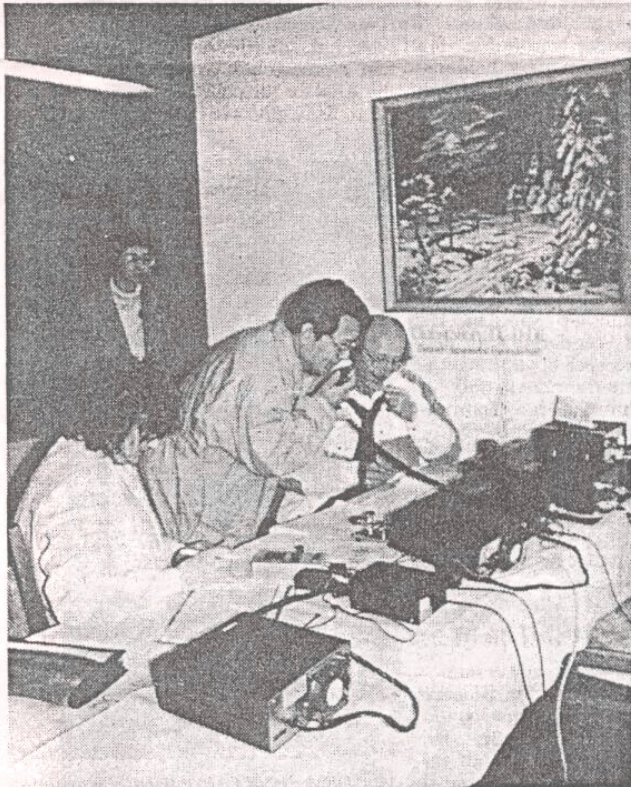
Einen Höhepunkt bildete der Vortrag mit japanischen Musikstücken und japanischer Folklore. Zentrales Instrument war dabei ein Koto, ein original japanisches 13saitiges Musikinstrument, das für jede beliebige Tonart gestimmt werden kann. Während der Darbietungen wehte ein Hauch fernöstlichen Zaubers über der Veranstaltung. Sehr gut dazu paßten die großen farbigen Poster mit japanischen Landschaften und berühmten Bauwerken.

Zu diesem Treffen hatten die Funkamateure der Ortsverbände Hohenzollern und Herrenberg einen 17 Meter hohen Antennenmast mit einer Spezial-Kurzwellen- und UKW-Antenne aufgebaut. Besonders

in den Nachtstunden wurde weltumspannender Funkverkehr abgewickelt. Ein Blick ins Logbuch verriet, daß die meisten Verbindungen mit Japan zustande kamen. Die Funkamateure in Japan hatten auf dieses Treffen gewartet, das ihnen schon seit längerer Zeit angekündigt war. Aber auch Funker aus Australien, USA, Venezuela, Nigeria und aus Alaska gehörten zu den Gesprächspartnern.

Es war erstaunlich, wie herzlich und unkompliziert sich einander fremde Menschen auf dem Funkweg begegnen können, wenn sie ein gemeinsames Hobby haben und den Wunsch, mit anderen Menschen in Kontakt zu treten. Da spielen berufliche und standesmäßige Unterschiede so gut wie keine Rolle, da trifft der Universitätsprofessor den landwirtschaftlichen Arbeiter und der Feinmechaniker den Vertriebsleiter einer Weltfirma.

Am nächsten Tag hieß es Abschied nehmen und einer nach dem anderen brach auf in Richtung Heimat, nach Schweden, Schottland, England, Niederlande, Luxemburg oder an seinen Arbeitsplatz zurück, aber nicht ohne sich vorgenommen zu haben, nächstes Jahr in Bad Homburg wieder dabei zu sein.



FUNKAMATEURE AUS GANZ EUROPA trafen sich bei den deutsch-japanischen Amateurfunktagen in Hechingen. Ein 17 Meter hoher Antennenmast ermöglichte Gespräche unter anderem nach Australien und Alaska. Beim Unterhaltungsabend bildete der Vortrag mit japanischen Musikstücken (rechts) den Höhepunkt.

Fotos: sr

10.4.92

HZ Hechingen

Möglichkeit zum persönlichen Kontakt geschaffen

Über 100 Teilnehmer bei Deutsch-Japanischen Amateurfunktagen in Hechingen

Am vergangenen Wochenende fanden in Hechingen die Deutsch-Japanischen Amateurfunktage statt. Einmal im Jahr treffen sich die Mitglieder und die deutsch-japanischen Freunde der JAIG (Japan Amateurs in Germany) an verschiedenen Orten in Deutschland. In diesem Jahr hatten Mitglieder des Ortsverbandes Hohenzollern im Deutschen Amateur-Radio-Club (DARC) unter Federführung von Christina Riefler (DL2GRC) nach Hechingen eingeladen. Über hundert Funkamateure mit ihren Familienangehörigen aus ganz Europa folgten der Einladung, um all jene zu sehen, mit denen sie schon länger über die Ätherwellen Sprech- und Morsekontakt gepflegt hatten.

Eröffnet wurde das internationale Treffen mit dem Ortsverbandsabend des OV Hohenzollern P 52 im Rathausaal in Sickingen. Ein sehr anschaulicher Diavortrag über die Eindrücke einer Japanreise stimmte schon auf die kommenden Tage ein. Andenken von der Reise waren in einer kleinen Ausstellung zu bewundern und zu „begreifen“.

Am Samstagvormittag kam der große Ansturm. Schon beim Mittagessen im Restaurant „Kupferpfanne“ wurden Kontakte geknüpft und intensive Gespräche geführt. Danach war eine Burgführung in Deutsch und in Japanisch angesetzt.

Nach einem Stadtrundgang in Hechingen begab man sich dann ins Gasthaus „Lamm“ in Stein. Dort trafen nacheinander immer mehr Besucher, besonders auch aus der Nachbarschaft ein. Die Ortsverbände Tübingen, Herrenberg und Böblingen hatten Abordnungen geschickt.

Einen Höhepunkt ganz besonderer Art bildete ein musikalischer Vortrag mit japanischen Musikstücken und japanischer Folklore. Zentrales Instrument war dabei ein Koto, ein original japanisches 13saitiges Musikinstrument, das praktisch für jede beliebige Tonart gestimmt werden kann. Während der Darbietungen wehte ein Hauch fernöstlichen Zaubers über der Veranstaltung. Sehr gut dazu paßten die großen farbigen Poster mit japanischen Landschaften und berühmten Bauwerken.

Zu diesem Treffen hatten die Funkamateure des OV Hohenzollern und OV Herrenberg einen 17 Meter hohen Antennenmast mit einer Spezial-Kurzwellen- und UKW-Antenne aufgebaut. Besonders in den

Nachtstunden und am Sonntagvormittag wurde weltumspannender Funkverkehr abgewickelt. Ein Blick ins Logbuch verrät, daß naturgemäß die meisten Verbindungen mit Japan zustande kamen. Warteten doch die Funkamateure in Japan gerade auf dieses Treffen, das ihnen schon längere Zeit angekündigt war.

Aber auch Funker aus Australien, USA, Venezuela, Nigeria und aus Alaska, um nur einige zu nennen, gehörten an diesem Wochenende zu den Gesprächspartnern der in Hechingen versammelten Funkamateure. Es ist doch immer wieder erstaunlich, wie herzlich und unkompliziert sich einander fremde Men-

schen auf dem Funkweg und dann auch von Angesicht begegnen können, wenn sie ein gemeinsames Hobby haben und den Wunsch, mit anderen Menschen in Kontakt zu treten. Da spielen berufliche und standesgemäße Unterschiede so gut wie keine Rolle, da trifft der Universitätsprofessor den landwirtschaftlichen Arbeiter und der Feinmechaniker den Vertriebsleiter einer Weltfirma.

Am Sonntag, gegen Mittag hieß es dann Abschied nehmen, und einer nach dem anderen brach auf in Richtung Heimat, nach Schweden, Schottland, England, Niederlande oder Luxemburg.

Amateurfunk ist ein sehr vielseitiges und interessantes Hobby. Wer Interesse daran hat, kann sich jederzeit mit Mitgliedern des OV Hohenzollern in Verbindung setzen und Näheres darüber erfahren (Telefon: 07471/71223). Auf den Amateurfunkbändern darf allerdings nur der funken, der im Besitz einer Amateurfunklizenz ist. Bei ausreichender Beteiligung ist vorgesehen, im kommenden Herbst wieder einen Vorbereitungskurs auf die Lizenzprüfung durchzuführen. sri



ÜBER 1000 FUNKAMATEURE wellten über das vergangene Wochenende in Hechingen bei den deutsch-japanischen Amateurfunktagen. Unser Foto links zeigt den Aufbau des Funkturms beim „Lamm“ in Stein, rechts Kunihiro Iki, Leiter der japanischen Delegation (links), und Hajime Matsumara, Mitbegründer der JAIG, der „Japan Amateurs in Germany“. Foto: cri

個人的な交流を深める ヘッピンゲンに於いてドイツと日本のアマチュア無線家ミーティングに 100 名以上の参加をみる

先週末にヘッピンゲンに於いてドイツと日本のアマチュア無線家によるミーティングが開催されました。年に一度 JAIG の会員はドイツ国内の異なる場所に於いて会合を持って居ります。今年は DARC 地域クラブのホーエンツォレルンがニーナ リーフラー(DL2RGC)の企画によりここでの開催に導いたのでした。

100 名以上の会員とその家族が全ヨーロッパから参加、今までは長い間無線だけでコンタクトのあった友との初対面を祝ったのでした。

この国際的なミーティングはこの地域クラブ月例ミーティングで始まりました。興味ある日本旅行の講演と、そこに展示された旅行記念品は次の日に開かれるミーティングの雰囲気をもり上げました。土曜日の午前中にはもう多くの参加者が集まって来ました。昼食の為に用意されたレストラン“クッファーカンネ”ではもう再開を祝い楽しい会話が生まれていました。その後ドイツ語と日本語によるホーエンツォレルン城の見学が行われました。市内見学が終ってからそれぞれ会場となっているホテル“ラム”に集まったのです。そこには後から後からたくさんの参加者、とくに近隣地域クラブのチュービンゲン、ヘレンブルクあるいはボープリンゲンからは代表者等の出席がありました。日本の音楽を日本の楽器による演奏で会場の雰囲気は最高潮に達しました。琴と呼ばれる楽器は 13 絃から成る伝統的な日本のものであらゆる音階に調節出来るものです。これの演奏中は東洋の魔術にゆり動かされる雰囲気をかもし出したのでした。日本の風景、有名な建造物を印刷したポスターはそれにマッチしたものでした。このミーティングの為に地域クラブホーエンツォレルンとヘレンブルクの友達は 17 米もあるアンテナマストを調達建造しそれに短波と超短波用アンテナを取付けました。とくに夜間と日曜日の午前中は全世界に向けて交信されたのでした。噂が物語っている様に、もっともなことでしょうが、殆ど日本との交信のものでした。日本の友達はこのミーティングのことを前々から知らされて居り私達を待っていたのでした。その他オーストラリア、アメリカ、ベネズエラ、ナイジェリア、そしてアラスカ等々もここヘッピンゲンに集まった無線家達の交信相手



でした。いつも感じるのですが、もしだれかがこのホビー通しだれかとコンタクトを持とうと思えば交信することにより知り合いになれる。

ここには職業上のあるいは身分上の階級は殆んど問題になりません。そこには大学の先生から農業労働者などあるいは精密機械工や世界的に有名な会社の職員であるかもしれない。

日曜日の昼頃お互いに別れをつけ、あるいはスエーデン、あるいはスコットランド、イングランド、又オランダやルクセンブルクへとそれぞれ帰省についたものでした。アマチュア無線は変化にとんだホビーです。どなたかこれに興味を持った方はいつでも私共のホーエンツォレルンクラブの会員とコンタクトを取り詳細を聞いてください(Tel.)。アマチュア無線に許可された周波数はライセンス保持者のみが使用を許されているものです。

十分な出席者数が確保出来れば今秋講習会を開く準備をして居ります。

(12 頁の翻訳, DF2CW)

注 11 頁の新聞記事は内容が殆んど同じなので日本語には翻訳しませんあしからず。 de DF2CW

先週末 100 名以上のアマチュア無線家がヘッピンゲンに集まり独日ミーティングを開いた。写真左はアンテナ建設中。右は JAIG グループを設立した IKI と MATSUMURA OM である。

G e s c h a f f t !

Hallo liebe JAIG-Mitglieder!

Ich nehme zwar an, daß der folgende Artikel hauptsächlich für YLs und OMs in und aus Japan von Interesse sein wird, aber vielleicht wird ja auch hierzulande zumindest die Neugier geweckt.

Nachdem ich aus Japan zurückgekehrt war, konnte ich leider wegen fehlender Antenne nicht mehr regelmäßig am Sonntäglichen JAIG-NET teilnehmen. Stattdessen hatte ich vor, es mal per PR zu versuchen und als ich in den JAIG-NEWS auch noch die Mailboxen einiger OMs (darunter die von JE1BQE, OM Nebiya) entdeckte, probierte ich es kurzerhand aus schickte unter anderem eine Nachricht an OM Nebiya. Von dort erhielt ich auch mit der Berlin-typischen Verzögerung bald eine Antwort.

Leider gab es seit Sommer vergangenen Jahres immer wieder Probleme mit dem einzigen Link (DBOBLN-DBOTOR), der Berlin mit dem S&F-Netz von DL verbindet, so daß wir teilweise über einen Monat von der Umwelt "abgeschnitten" waren. Dem entsprechend lang waren die Laufzeiten... Fast hätte die Angelegenheit ihren Reiz verloren, aber dann lief BLN wieder. In der Zwischenzeit kamen noch einige Kontakte zu OM Murakami, GMONJP und OM Maruyama, DJOMBG hinzu.

Bis zu diesem Zeitpunkt schrieben wir zwar teilweise auf Japanisch, aber in der entsprechenden Umschrift mit Lateinbuchstaben, denn mir stand nur der C-64 an der Clubstation zur Verfügung. Nebenbei versuchte ich noch, meinen "Spectrum" PR-reif zu machen, was es mir aber übelnahm. Nun hatte ich mir in Japan einen Wordprocessor zugelegt und extra darauf geachtet, daß dieser auch eine serielle Schnittstelle besaß, denn ich wollte ihn eines Tages auch für PR auf Japanisch (sieht lustig aus, besonders auf "normalen" Computern) nutzen.

Vorher holte ich vom Sysop unserer Box (DBOGR) die Erlaubnis ein, seine von Binär-Files freie Box mit ebensolchen zu füllen. (Er war sogar begeistert...) während ich noch überlegte, welchem TNC die Ehre zukommen sollte, die Schnittstelle meines Wordprocessors zu bedecken, erhielt ich plötzlich ein Paket von OM Nebiya (Nochmals vielen Dank!) mit einem TNC-223... (ein schönes Gerät!)

Entgegen den Bedenken einiger OMs, die meinten, die Boxen auf Kutzwele würden nur sieben Bit übertragen, starteten OM Nebiya und ich einige Tests, die letztendlich zum Glück das Gegenteil bewiesen. Selbst nach Berlin kann ein "richtiger" japanischer Text in drei Tagen gelangen. Auch mit Mieko, DD5KJ, läuft seit einigen Tests der Austausch auf Japanisch. Man steht nämlich erst einmal vor dem Problem, sich mit der Gegenstation auf eine einheitliche Kodierung der Zeichen (ein Hoch dem ASCII-Code!) zu einigen.

Nun wird sich bestimmt mancher fragen, ob er dann nicht lieber gleich einen Brief von Hand auf Japanisch schreiben solle... Natürlich braucht man gewisse technische Voraussetzungen (8Bit-TNC, Wordprocessor oder Computer mit japanischem MS-DOS) und auch Sprachkenntnisse (Japaner müßte man sein...), aber man kann ja auch so mal eine Nachricht auf Englisch oder Deutsch bzw sogar Programme schicken. Bis jetzt noch nicht gelungen ist es mir leider, eine Nachricht bei OM Kumagai, JA1MCZ (via JL1ZKI) ankommen zu lassen. Hier könnten vielleicht die OMs in JA mit den genauen "Adressen" ihrer Boxen, die ja manchmal recht abenteuerlich aussehen, dienen.

Auf jeden Fall hoffe ich auf weitere Kontakte und danke nochmals allen, die hierbei mitgewirkt haben.

73! de Olaf, Y46 @ DBOGR

PS: Wir können uns eigentlich glücklich schätzen, daß die "offene Sprache" in DL recht locker definiert ist...

や っ た ぞ !

JAIGの皆さん、こんにちは。

多分、この記事に付いて特に日本又は海外に住んでいる日本人には関心があると思います。

私もアパマンで、HFのアンテナがないので日本留学後以来日曜日のJAIG-NETにあまりよくログ・インできません。ですからその代わりにパケットの転送でやることを考え出しました。そして、JAIG-NEWSにはメンバ数人のBBSを見つけて、その中のJE1BQE根日屋OMのBBSへもメッセージを送ってみました。ベルリンまではいつも特に時間が掛かりますが、結局返事が入って来ました。

ベルリンはドイツの転送ネットと一つのリンク(DBOBLN-DBOTOR)だけで繋がっていますが、去年の夏以来いつも色々な問題があり、一カ月以上転送はうまく行かない場合もありました。この理由でももちろんメールが着くまでに長い時間が掛かってしまいました。もうやめようと思った時にやっとBLNがまた動き始めました。その時、GMONJP村上OMやDJOMBG丸山OMともメールの交換を始めました。

その時までは日本語でも書きましたが、いつも 로마字 だけでした。私は日本滞在中ワープロを買いましたが、特にシリアル・インタフェースが付いているのを注意しました。なぜかと言うと、パケットを漢字でやる予定があったからです。(ヨーロッパのコンピュータでできないでしょう)

しかし、うちのBBSのSYSOPはプログラム・ファイルなら(日本語も8ビットですね)厳しいから、まずその人の許可を得ました。それだけではなく、彼がとても興味があるようでした。私はどのTNCにするかと考えた途中で突然根日屋OMから荷物が入りました。その荷物の中にはTNC-223が入っていました。(もう一度本当に感謝したいと思います。)

回りの人は数人HFのBBSが7ビットの転送しかないという疑問を述べましたが、それを構わずに根日屋OMとテストを行った結果そうではないと幸いに明らかにしてきました。日本からベルリンまでも「本来の」日本語のメールが三日間のうちに着く場合がありました。DD5KJ岩崎YLともテスト以来漢字で書かれているメールを交換しています。

多分ドイツ人の中には「私には何の利益があるか」と聞く人がいるかもしれません。もちろん、漢字でパケットをやるのにはまずその設備(8ビットのTNCとワープロ又は日本語MS-DOS使用コンピュータ)そして日本語の知識(日本人だといひね)が必要です。ただ、このテストの結果で何でも送ることができると分かりました。しかし、残念ながら熊谷OM(JA1MCZ @JL1ZKI)のところは何度メールを送ってみても、なかなか着かないでしょう。それはBBSの「住所」の問題であると思いますので、日本側のメンバにそのBBSリスト等を伝えていただけませんか。

それでは協力して下さい皆さんにもう一度感謝したいと思います。日本語で安心ですから皆さんたくさんメールをこれから送って下さい。

73! De オーラフ、Y46FO @

DBOGR

こちらでの設定: 漢字コードシフト JIS
 " 全角シフト新 JIS " ESC-\$-B"
 " 半角シフト慣用 " ESC-(-H"

JAIG - MITGLIEDER

STAND: 1. MAI 1992

Nr.	DL-Call	JA-Call	And, Call	081 DK9UA	7J1ADW	C30LEK	163 DC/JK1BFA	JK1BFA
001	DJ0UL	JA1SC	4U1ITU	082 DD8PW			164 DLOKHD	
002	DJ0LV	JA1MCZ		083 DL2GRC		DG1GCR	165 DL9JW	
003	DJ0VX	JA10LT		084 DL/JA0BSL	JL1BVO	JA0BSL	166 DG6LAU	
004	DK9QZ			085 DH6DAI			167 DK5JI	
005	DJ0QQ	JH1GSN		086 DL/JRODLU	JRODLU		168	
006	DJ0ZU	JA1BCN		087 DJ8MA			169 DG3SI	
007	DL/JA7SOQ	JA7SOQ		088 DJOMBG	JE1NWL	KB6IVM	170 DC9JP	
008	DD5DN	JA4AES		089 DL/JA1DKN	JA1DKN		171 Y48GN	
009	DD5DP			090 DH/JA0HPC	JA0HPC		172 Y22ON	
010	DL/JA3BAG	JA3BAG		091	JA2RM	F/JA2RM	173 DL2GRA	
011	DJ0SI	JA10YP	C31UX	092	JA7EUK	LX2AA	175 DH0GRG	
012	DD5GJ	JA40AE		093	JR1XRC	PA3FHA	174 DG1GRS	
013	DJ0YM	JA3XKJ		094	JA3DAY	SMOHEG	176	F/JH2LYQ
014	DD5CM	JG3SNE		095		SMONQS	177	F/JA1AQX
015	DJ0FN	JR1UTX		096		SMOPBC	178 DK50C	
016	DJ0ER			097		SMORAQ	179 DL1PT	
017	DJ0SC	JF3SEI		098 DK9UI			180 DL1PK	
018	DF2CW	JA7HM	DJ0VK	099 DF2YH			181 DL/JN1SPR	JN1SPR
019	DJ0ID	JA1WNL		100 DB7IU			182 DL/JJ1CAS	JJ1CAS
020	DD5GO	JH2PKO		101 DL0DJF			183 DL/JA1LZR	JA1LZR
021	DJ0KE	JA9IFF	4U1VIC	102 DL2OC			184 DF6SW	
022	DD5EF	JQ1NRO		103 DL/JE2AIN	JE2AIN		185 HE9SUK	
023	DC0FM	JA0CQP		104		OE6CSD	186 DL/JH1BRC	
024	DJ0BW	JA1HNN	DD5GI	105		OE1YOB	187 DL/JQ1TDQ	
025	DL/JA1AN	JA1AN		106 DL/JA1RDW	JA1RDW		188	KL7YR
026	DL/JR1HJS	JR1HJS	JA0CZC	107 DJ6PO			189 DH2YAU	
027	DL/JM1LJX	JM1LJX		108 DF9ZN			190 Y38-14-G	
028	DL/JH3CLK	JH3CLK		109 DH1BAI			191	JF1MJ0
029	DL/JH30HL	JH30HL		110 DJ0HA	JA0DBQ		192 DL9HC	
030	DL/JR1SWB	JR1SWB	5Z4WB	111 DF2MC			193 DG8YGJ	
031	DL/JA3AER	JA3AER	N2ATT	112	JE2LMM	FDIRDG	194	JA1BNW
032	DL/JA1BRK	JA1BRK	KE6DI	113 DC0HR	J13DCF		195	JA0AW
033	DL/JH1PVI	JH1PVI		114 Y27MN			196 DG9EAF	
034	DL/JE1BQE	JE1BQE	JA9QZH	115 Y25QN			197 DL/JA1VC	JA1VC
035	DL/JG1GWL	JG1GWL	KE6QX	116 DJ0FX		OE6BVG	198 DG1EHR	
036	DC0JH	JR1ICU		117 DJ00Q	JH2BCR		199 DH0DAC	
037	DD5KJ	JN1UUJ		118	JA3BRW	GOMYB	200 DK5ML	
038	DC0FW			119	JA4KQG	G0NTK	201 DE1SVE	
039	DC/JE10HO	JE10HO		120	JA0BUA	G4YHC	202 Y48IL	7J6AA0
040	DD5FX			121		GI0KL	203	JP1LPH
041	DJ0QN	JA1SKY		122 DJ0MDU	JM1SWN		204	JA9BFM
042	DJ0WU	JR3PZW	DL/JR3PZW	123 DC8YY			205 DG7YEO	
043	DJ0CJ			124 DJ0TQ	JA3PE		206	
044	DJ0CT	JA0NK	ON8YA	125 DD5CI	JQ3MGZ		207 DJ0QM	
045	DJ0DY			126 DF4IJ			208 DL/JR2BBR	
046	DJ0TN			127 DL9KCJ			209 DL1YCG	
047	DJ0ZS			128 DG3DBJ			210	JA0KG
048	DD5CY			129 DG5DBT			211 DL/JA1NVF	JA1NVF
049	DL/JH3FNC	JH3FNC	GMONJP	130 DG2DBO			212	JL1EEE
050	DD5HM			131 DF1CZ			213 DL/JJ1UAP	JJ1UAP
051	DD5LC			132 DG3EAW			214 DL9XW	
052	DD5LD			133 Y46FO	7J1AIT		215 DL/JA8FTW	JA8FTW
053	DL/JA6EGL	JA6EGL		134 DC6QO			216 DJ4SM	
054	DJ0AAD	JA3MOB		135 DL4LI			217	JG3FAR
055	DJ0MBB	JA3LIL		136	JA1PS	F/JA1PS	218	JK6VLO
056	DD5BG			137 DE1WBD			219 DL6GBI	
057	DD5B0			138 DJ2JD			220 DF7UB	
058	DD5BV			139	7J1AIJ		221 DG1GRM	
059	DD5HO			140	JA1IST	WR6M G φ PMQ	222 DG5YGI	
060	DD5JU			141	JA3GUY		223	
061	DJ0MBY	JH7KJJ		142 DG8DBQ			224	JJ1DSB
062	DJ0FB			143 DF4WW				OE1MWC
063	DJ0HY	JA4MBR		144 DG5KBE				VE3/JJ1DSB
064	DL/JI1VLV	JI1VLV	5Z4NN	145 DL9VN				
065	DD5FR			146 DL9GZ				
066	DL/JF1SAG	JF1SAG	FE1MUY	147 DF1PJ				
067	DH/JR1KWR	JR1KWR	GOLHB	148 DH2PAX				
068	DL/JH0BLI	JH0BLI		149 DL8SCU				
069	DL/JI6KHA	JI6KHA		150	JA1HIS			
070	DJ0MCD	JH1LPF	KG2X	151	JA1MYW			
071	DJ0AVV	JH1PKN	DD5KC	152 DD3JP				
072	DL/JE1TGN	JE1TGN		153 DG1EHB				
073	DL/JA6EV	JA6EV		154 DG9ZY				
074	DL/JA7VR	JA7VR		155 DG9ZU				
075	DL/JH7DEA	JH7DEA		156	JA3DO	KD2YH		
076	DL/JE7MBN	JE7MBN		157 DF1IU				
077	DL5SCC			158 DH/JR7IAF				
078	DG4SAB			159	JA7CIY			
079	DJ9WH			160	J11LNP			
080	DK6PK			161	JK6RWM			
				162 DL/JK1SDK	JK1SDK			



**Registration Form for
Asian YL Meeting'93 in Osaka**

Please fill out either Form(A) or Form(B), if you wish to join the Asian YL Meeting'93 in Osaka.

Form(A)···If you plan full participation, please fill out Form(A) and return it to JR3MVF promptly.

Form(B)···If you hope to join the meeting but cannot be sure you will be able to attend, please fill out Form(B) and return it to JR3MVF before June 30. 1992. Then when your plans are firm, please send Form(A) to her before August 31. 1992.

If you have any questions about this meeting, please do not hesitate to write to JR3MVF
We are awaiting your reply.

Form (B) for Possible Registration

While I wish to join the Asian YL Meeting'93 in Osaka, I cannot yet determine whether I will be able to attend. If I can attend, I will send Form(A) before August 31. 1992 or _____1992.

Call sign: _____ Name: _____
Address: _____

Tel.: _____ Fax.: _____
Attending with: _____

Form (A) for Possible Registration

1) I will attend the Asian YL Meeting'93 in Osaka.
Call sign: _____ Name: _____
Address: _____

Tel.: _____ Fax.: _____
Country: _____
Attending with: _____ Call _____ Name _____
OM _____

2) Please book the following rooms at the hotel.
No. of rooms Night
Single Room: _____
Twin Room : _____

3) As registration fee and deposit of partial expenses, I will send ¥5,000 no later than Sept. 30. 1992, to Postal Account "Osaka 8-129890, Asian YL Meeting'93 in Osaka, Kyoko Miyoshi,"

I understand the balance is to be paid upon arrival.

	YL	OM,etc	Amount
Registration	: _____	¥ 1,000 X _____	= ¥ _____
Welcome Party	: _____	¥ 2,000 X _____	= ¥ _____
OM-YL Banquet:	_____	¥ 8,000 X _____	= ¥ _____
Breakfast X 2	: _____	¥ 2,060 X _____	= ¥ _____
Lunch	: _____	¥ 2,060 X _____	= ¥ _____
Hotel Fee X 2	: _____	¥ 12,360 X _____	= ¥ _____
Total			¥ _____

3) Regarding an optional tour, I like the following marked:
1. Visit to a manufacturer of radio equipment.
2. Sightseeing in Kyoto
3. Others : _____